

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL I				科目コード	T1310B5		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	2 単位		
担当教員名	武田 春美	履修グループ	2D(JT/KS)				授業方法	演習		
実務経験の内容	<p>資材メーカーのシステムエンジニアとして、5年間にわたり在庫管理システムの開発・運用業務を担当しました。その後、ITコンサルタント企業で顧客の販売管理システムの開発・運用業務を6年間実施しました。これらの経験を生かし、実務に必要な表作成、関数、データ管理機能について実践的に授業展開を行います。</p>									
学習一般目標	<p>IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。 3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成します。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>基本的なSQL SELECT文の作成、INやLIKEなどの演算子を利用したデータの検索条件を定義、各種関数でデータを加工、複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。</p>									
教科書および参考書	なし									
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Oracle Live SQL									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる								
	1/2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる								
	3	なし								
	4	なし								
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30			30				60
		2.思考・判断	30							30
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
	総合評価割合	60				30			10	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	授業期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの作成、SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問います。
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	各章ごとに実習(1~5)を出題します。
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断します。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	1章~2章 リレーショナルデータベースとSQL SELECT文を使用したデータの取得	講義・実習	実習1(2章)
第2回	2章 SELECT文を使用したデータの取得	講義・実習	実習1(2章)
第3回	3章 データの制限およびソート(WHERE句)	講義・実習	実習2(3章)
第4回	3章 データの制限およびソート(WHERE句、ORDER BY句)	講義・実習	実習2(3章)
第5回	4章 単一行関数(数値関数、文字関数)	講義・実習	実習3(2章・3章)
第6回	4章 単一行関数(日付関数)	講義・実習	実習3(2章・3章)
第7回	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定(変換関数)	講義・実習	実習4(4章・5章)
第8回	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定(汎用関数)	講義・実習	実習4(4章・5章)
第9回	5章 変換関数・汎用関数と条件式の指定(条件式)	講義・実習	実習4(4章・5章)
第10回	6章 グループ関数とデータの集計(グループ関数)	講義・実習	実習4(4章・5章)
第11回	6章 グループ関数とデータの集計(GROUP BY句)	講義・実習	実習5(6章)
第12回	6章 グループ関数とデータの集計(HAVING句)	講義・実習	実習5(6章)
第13回	確認テスト	講義・実習	
第14回	課題解決型授業1 実習3	遠隔授業 実施時期:1期	授業内容の復習
第15回	課題解決型授業2 前期復習問題	遠隔授業 実施時期:3期	授業内容の復習